

(様式第 2 号) (第14条関係)

太陽光発電施設設置許可申請書

令和 8 年 9 月 1 日

長野県知事 様

住 所 長野県東筑摩郡生坂村5074-2
氏 名 株式会社 いくさかてらす
代表取締役 藤 澤 泰 彦
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第14条第 1 項の規定により、下記のとおり申請します。

記

太陽光発電施設の設置の場所		長野県東筑摩郡生坂村大字北陸郷14230
事業区域の位置及び面積		別添「位置図及び事業区域図」参照 807. 10m ²
太陽光発電施設の合計出力		50. 0kW (太陽電池の合計出力 76. 26kW)
太陽光 発電事業の 内容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	☒ 売電 ☐ 自家消費 設備ID (なし オフサイトPPA方式により小売契約者に電力売電予定)
	設置工事着手予定日	令和 8 年 1 0 月 2 6 日
	設置工事完了予定日	令和 9 年 2 月 1 5 日
	運転開始予定日	令和 9 年 4 月 1 0 日
	施設撤去予定日	令和 2 8 年 9 月 3 0 日
太陽光発電施設の設置に関する計画		別添「太陽光発電施設設置計画書」参照
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参照の上、設計会社による構造（強度）計算を行い、架台については風雪に耐えられる強固なものとする。
景観保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※環境配慮区域に太陽光発電施設を設置する場合に限る。		

備考	連絡先 (電話番号) 0263-69-2388 (FAX番号) (電子メールアドレス) otoiawase@ikusaka-terasu.jp
----	--

注 1 該当する□内にレ印を記入すること。

2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。

3 「事業区域の面積」欄には、小数第 1 位まで記載すること。

4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第 1 位まで記載すること。

5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第 9 条第 1 項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。

6 「備考」欄は、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

(添付書類) 1 位置図

2 事業区域図

3 登記事項証明書（申請者が法人である場合に限る。）

4 誓約書

5 太陽光発電施設の配置図

6 土地の形質変更を行う場合にあっては、当該土地の造形計画の平面図、縦断面図及び横断面図

7 擁壁を設置する場合にあっては、当該擁壁の構造図

8 排水計画に係る平面図及び断面図

9 太陽光発電施設の構造に関する図面

10 現況写真

11 条例第11条の書面

12 その他知事が必要と認める書類

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☐ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☒ その他（設置箇所は舗装設置済 頂部に左右 勾配に傾斜がついている為、帯水の懸念が無い）		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☒ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☐ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	別紙1 工程表のとおり		
工事車両の運行計画	想定される台数（延べ）100 台 2 台×50 日 運行時間 平日 9:00～17:00 経路 別紙2 工事車両運行計画図のとおり		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒ 無	想定盛土量 m ³
	切土の有無	有 ・ ☒ 無	想定切土量 m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		m ³
排水処理設備の有無	☒ 有 ・ 無		
	排出経路	別紙3 排水排出経路図のとおり	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(設置計画書 別紙1)

工 事 工 程 表

計画工事名	上野地区太陽光発電所建設工事	事業者	株式会社 いくさかてらす
工 事 場 所	東筑摩郡生坂村大字東広津 1 4 2 3 0 番地		
工 事 期 間	令和 8 年 1 0 月 2 6 日～令和 9 年 2 月 1 5 日		

月 工種		10月						11月						12月						1月						2月					
土 工																															
基 礎 工																															
架 台 組 立 ・ モジュール設置																															
電 気 工																															
フ ェ ン ス 工																															
片 付 け																															
検 査 ・ 系 統 連 携																															

- 記載要領
- 1

工種は工事数量総括表の工種を記載する。（工種以外でも必要なものは、記載する。）
- 2

予定工程は黒実線をもって表示する。

(設置計画書 別紙2)

工事車両運行計画図

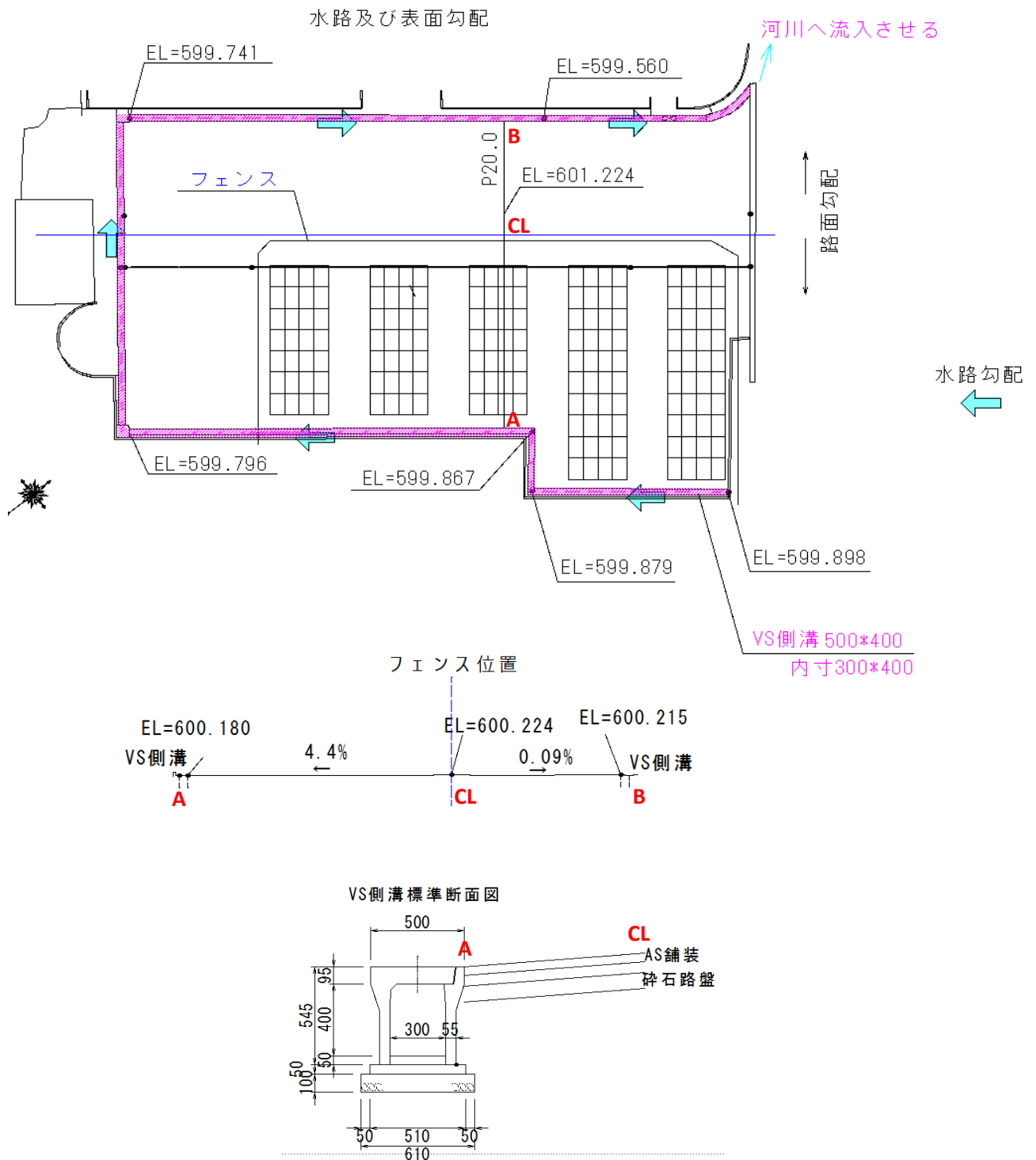
県道275号より村道1級1号へ進入→工事予定地

地元村道は幅員が狭いため、必要に応じて誘導員等を配置する。



太陽光パネル設置箇所は舗装設置済の駐車場であり、雨水の表面浸透が無い。
異常降雨等の突発的帯水に対しても舗装勾配に従い外郭部の自由勾配側溝に導水させ
下流河川に流入させる。

駐車場の表面勾配は中央のフェンス位置を境に左右端部に向かい勾配がついている。
その為帯水の懸念が無い。



(参考資料) (第7条関係)

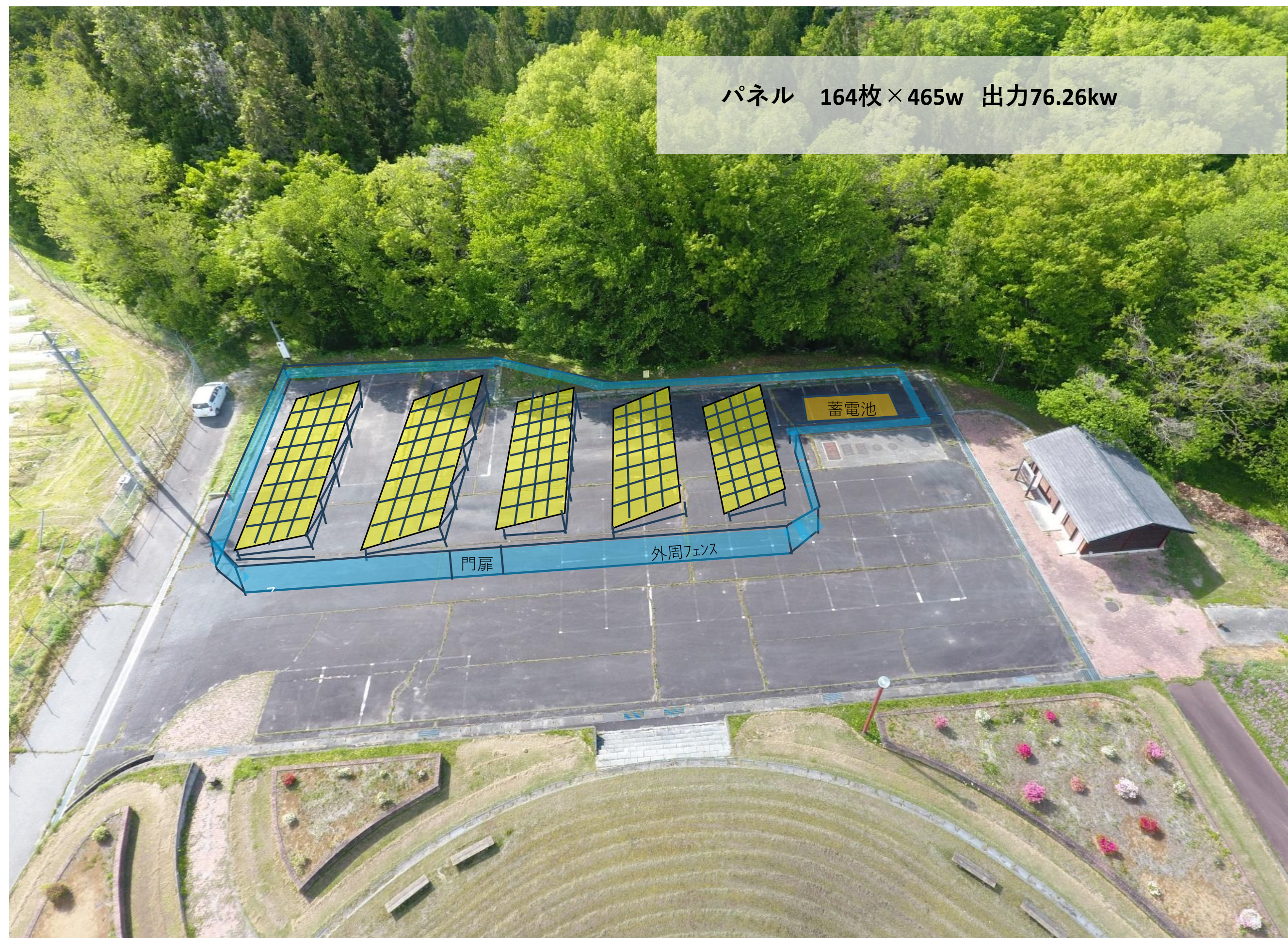
景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	斜面、高台ではないが、現況地盤を生かし土地の造成等は均し程度の必要最低限にとどめる計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	付近の公共的眺望点からは距離もあり、モジュール傾斜角を20°とし、高さを抑えることで影響はないと考える。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	道路との境界より5m以上離隔してモジュールを設置する。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	土地形状等に合わせ分割する。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	道路との境界より5m以上離隔してモジュールを設置するので、視界を遮ることはない。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	付近の公共的眺望点からは距離もあるが、モジュール傾斜角を20°とし、高さを抑える。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	効率の良い角度で揃えて配置する。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	傾斜角は20°とし、高さを抑えて、周囲の山並みに極力整合させる。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	道路との境界より5m以上離隔してモジュールを設置する。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		防眩処理が施され結晶が目立たないものを選択する。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		黒又は濃紺色を選択する。
		フレーム	低反射塗装の素材を使用する。	低反射塗装の素材を使用する。
			同系色を選択する。	同系色を選択する。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		景観に配慮し茶色とする。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないように、低減に努める。		新設は必要最低限の本数になるように検討した。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		白色系を使用する。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		緑化、植栽は行わない。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		緑化、植栽は行わない。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		近隣に反射光が届く住宅はなく、影響は少ないと考える。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		1年に1回保守点検を行う。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		長野県建設部都市まちづくり課に確認済

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

上野地区太陽光発電所 完成イメージ



(第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日 令和 8 年 9 月 1 日

太陽光発電施設の設置場所	長野県東筑摩郡生坂村大字北陸郷 14230	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名）	長野県東筑摩郡生坂村 5074-2 株式会社いくさかてらす 代表取締役 藤 澤 泰 彦	
保守点検責任者	氏名及び住所	生坂村 5074-2 田村航太
	電話番号	0263-69-2388
合計出力	50.0 kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 28 年 9 月 30 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	太陽光発電施設の処分は廃棄物処理者に依頼する。 撤去後、土地は原状回復する。 資金収支計画に基づく廃棄費用の積立を実施する。	
維持管理計画及び状況の公表方法	標識に掲示	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

○強風による飛散

- ・太陽電池モジュール、課題の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

○豪雨による災害

- ・土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

- ・事故・災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省・県など）に連絡する。
- ・土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないように対策を講じる

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年1回	4月中
			端子箱に破損、変形がないか		年1回	4月中
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年1回	4月中
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年1回	4月中
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年1回	4月中
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年1回	4月中
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年1回	4月中
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年1回	4月中
			接続部に緩み、破損がない。		年1回	4月中
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年1回	4月中
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年1回	4月中
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食などの影響がない。		年1回	4月中
			ボルト、ナットの緩みがない。		年1回	4月中
			固定強度に不足の懸念がない。		年1回	4月中
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年1回	4月中
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	4月中
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年1回	4月中
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年1回	4月中
漏電遮断	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年1回	4月中
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年1回	4月中
パワーコンディショナ	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年1回	4月中
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年1回	4月中
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年1回	4月中
			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年1回	4月中

	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年1回	4 月中
--	-------------------------------------	----	-------------------------------	--	-----	------

附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年1回	4 月中
			亀裂、ずれがない。		年1回	4 月中
			破損がない。		年1回	4 月中
			排水設備外への漏水がない。		年1回	4 月中
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			
	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			

	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年1回	4月中
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年1回	4月中
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年1回	4月中
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年1回	4月中
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年1回	4月中
			雨水等による洗掘がない。		年1回	4月中
			草木の繁茂がない。		年1回	4月中
設置地盤	☒	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。		年1回	4月中
			段差、傾斜がない。		年1回	4月中
			空洞の発生（土砂の流出）がない。		年1回	4月中
			隆起の発生がない。		年1回	4月中
設置地盤	☐	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。			
			事業地周辺への土砂の流出がない。			
			雨水等による洗掘がない。			
			草木の繁茂がない。			

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

位置図



事業区域図

グリーンパークブリッ

事業の区域

上野農村公園

地すべり防止区域(農政)

100m
1 / 2500



上野公園駐車場



外周フェンス

パネル 164枚 $\times 465w = 76.26kw$

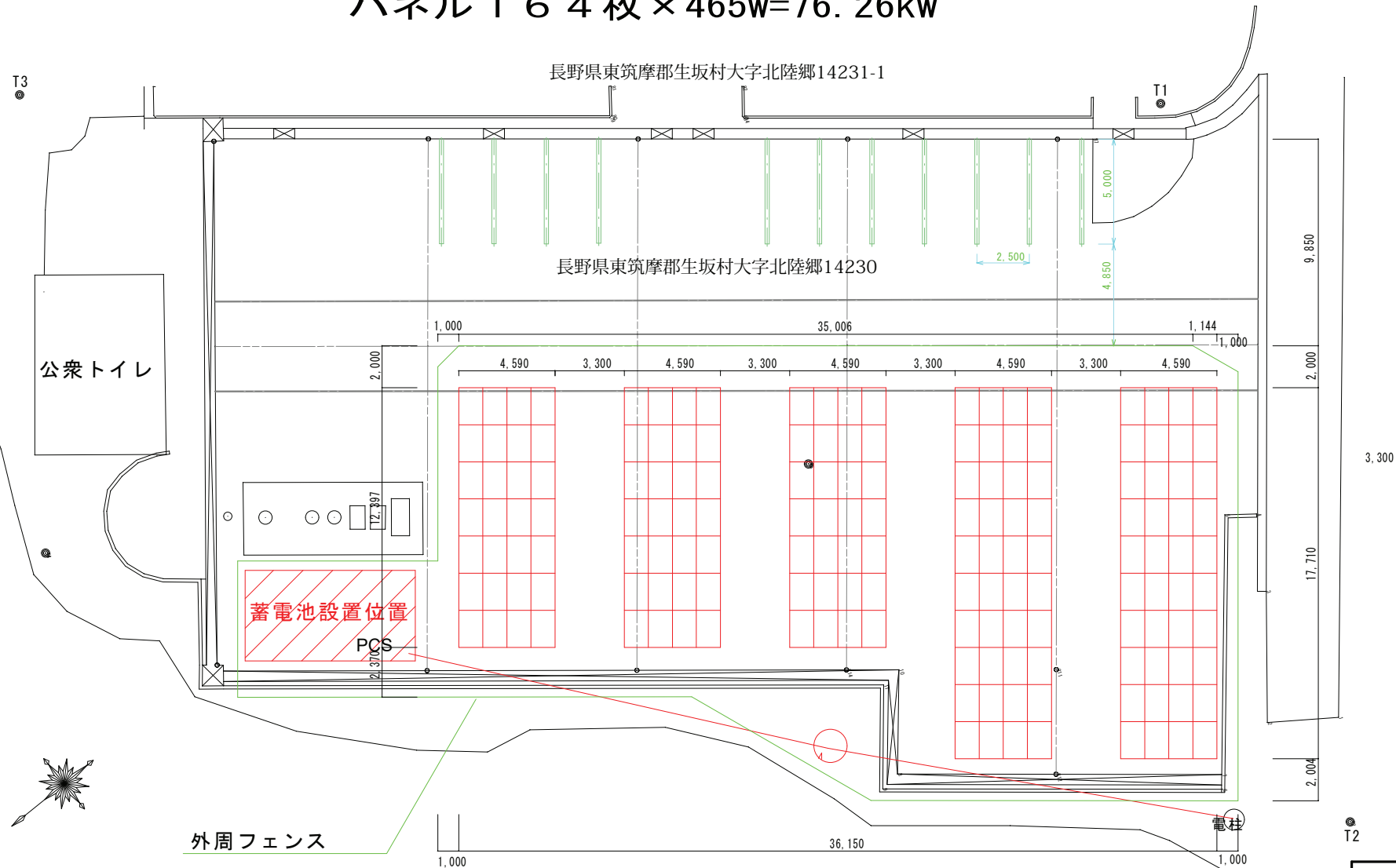
蓄電池

PCS

外周フェンス



上野地区太陽光発電所 A1図面 1:100
A3図面 1:200
パネル 164枚 × 465w = 76.26kw



上野地区 太陽光発電所			
図	1	パネル配置図	縮 1:100
長野県東筑摩郡生坂村大字北陸郷14230			
設計会社		管理技術者	
測量会社		調査技術者	
調査会社		主任技術者	
		現場代理人	

現況写真



(参考様式) (第11条・第13条関係)

事業基本計画説明状況書

令和8年9月1日作成

事業者の住所・氏名 (法人にあって、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)		長野県東筑摩郡生坂村5074-2 株式会社 いくさかてらす 代表取締役 藤 澤 泰 彦
事業太陽光発電施設の設置の場所		長野県東筑摩郡生坂村大字北陸郷14230 (設備ID)
説明会開催についての周知の方法とその範囲		草尾区及び草尾農業団地生産組合へ周知文書配布
説明会 の 概 要	日 時	令和8年7月28日 午後7時から
	場 所	草尾交流センター
	参加者数	11名
	説明を行った者の氏名(法人にあっては、氏名及び役職名)	牛 越 宏 通 (代表取締役) (社員)

注1 説明会を2回以上開催した場合は、説明会ごとに作成すること。

(添付資料) 1 説明会で配布した説明資料

2 説明会で説明した内容、参加者の要望及び意見並びにそれらへの回答等について具体的に記載した議事録

草尾区 マイクログリッド事業及び
上野地区への太陽光発電設備設置計画に関する説明会 次第

日 時：令和８年７月２８日（火） 19:00～

場 所：草尾交流センター

1 開会

2 あいさつ

3 説明内容

（１）草尾区マイクログリッド事業及びオフサイトＰＰＡ事業の概要について

（２）その他

4 閉会

マイクログリッドとは？

マイクログリッドとは、太陽光や蓄電池などの電源を組み合わせ、小さなエリア（地域や施設）で電気を作り、使い、管理する仕組みです。

外部の電力システムとつながっていても、切り離して自立的に電力をまかなうことができます。

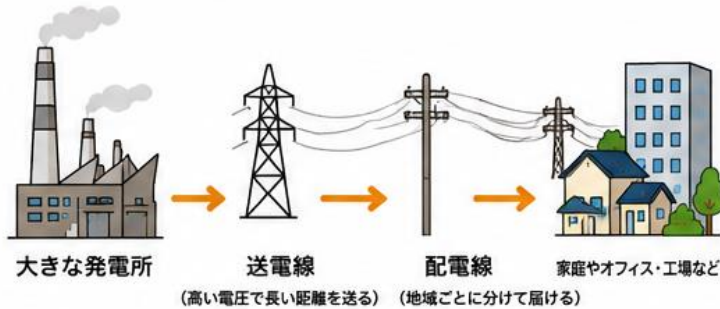
例えば

大きな電力会社からの電気に頼るのではなく、
「自分たちの地域で電気をつくって使う」
小さな電力の自給自足の仕組みです。



通常の電力の仕組み

大きな発電所でつくった電気を、送電線・配電線を通して各家庭や建物に届ける仕組みです。



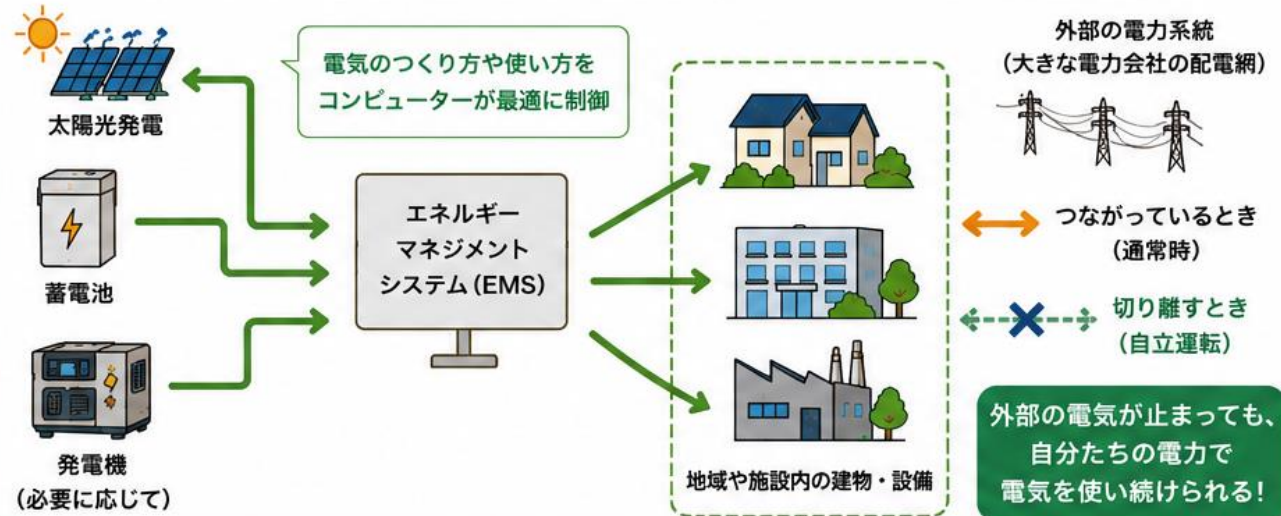
停電が
起ると...

大きな発電所や送電線・配電線に問題が起きると、
広い地域で電気が止まってしまう。



マイクログリッドの仕組み

地域や施設内で電気をつくり、使います。外部の電力とつながっていても、切り離して自立運転ができます。



自営線とは？

特定の建物や施設の間で、電気を送るために事業者が自ら建設・保有・運用する電線のこと。

イメージ



特徴

- ・自分たち専用のため、計画的に使える
- ・災害時などでも、比較的安定して電力を供給しやすい

既存配電線とは？

電力会社（送配電事業者）が保有し、地域の家庭やお店などに電気を届けるための電線のこと。

イメージ



特徴

- ・多くの利用者と共有する公共の電線
- ・地域全体に電気を届けるためのインフラ
- ・災害時には影響を受けることがある

どこで使われているの？

- ・離島や山間部など、電力の届きにくい地域
- ・工場や病院、学校など、電気が止まると困る施設
- ・災害時の避難所や防災拠点
- ・まちづくりやスマートシティの一部として など



まとめ

マイクログリッドは、「つくる・ためる・使う・管理する」を小さなエリアで行う電力のしくみです。
自営線や既存配電線を使い分けることで、より安全で効率的に、地域や施設の電力を支えることができます。



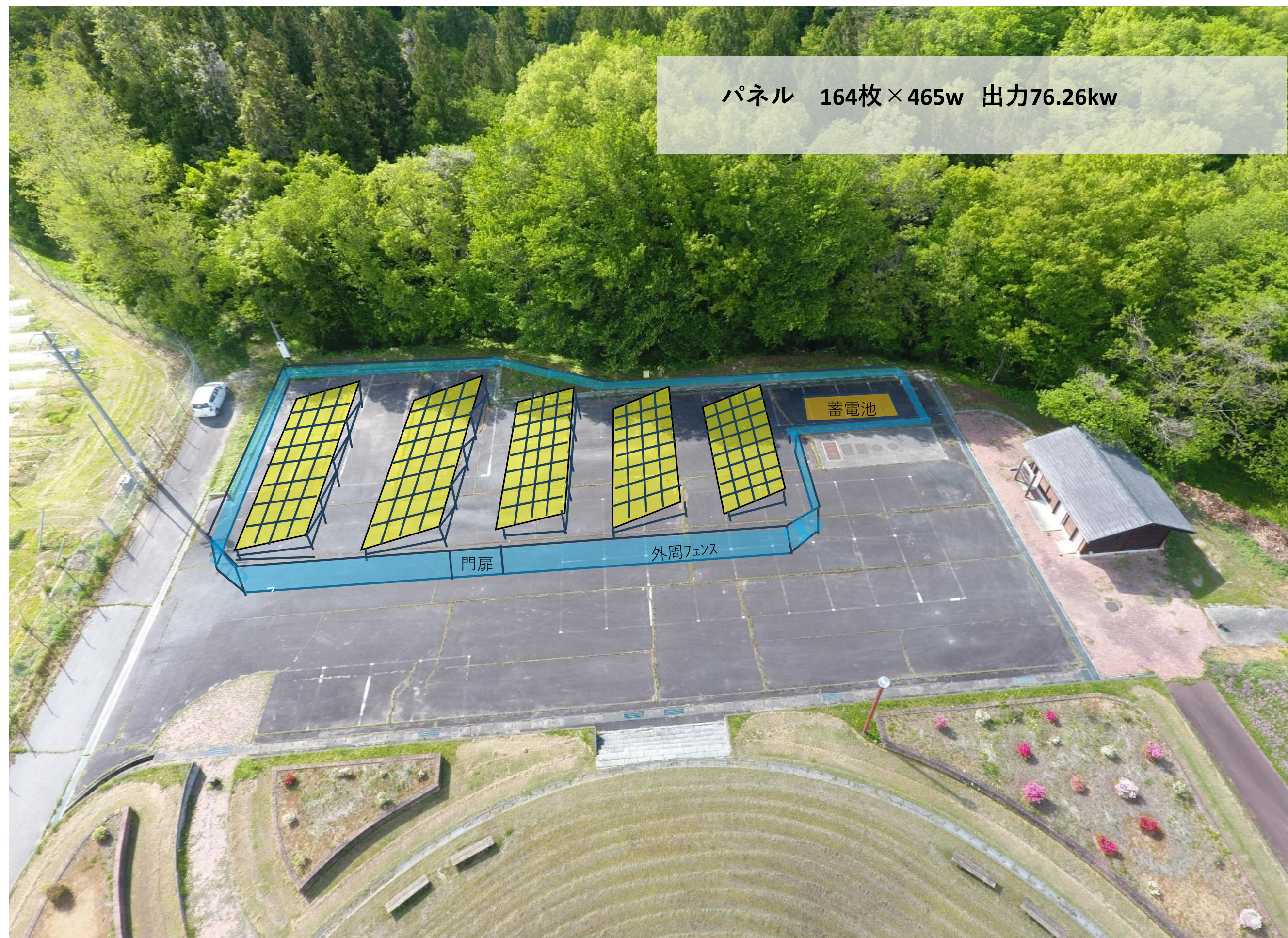
【草尾マイクログリッド】

草尾区

上生坂区

	上生坂区マイクログリッド	草尾区マイクログリッド
平常時	オンサイトPPA太陽光発電電力を自家消費 余剰電力は需給調整用蓄電池に充電 夜間、悪天時など電力不足時に需給調整用蓄電池から供給	オフサイトPPA太陽光発電電力を系統線で各農場等へ供給 余剰電力は中型蓄電池に充電し、非常時に備える
非常時	原則、平常時と同じ運用 余剰電力の逆潮流無し	草尾上野ぶどう団地入口の中電PG開閉器を開放し、ぶどう団地を他のエリアと独立させて、ぶどう団地内の太陽光発電＋中型蓄電池でぶどう団地内の重要負荷に対して電力供給

上野地区太陽光発電所 完成イメージ



工 事 工 程 表

計画工事名	上野地区太陽光発電所建設・蓄電池設置工事
工 事 場 所	東筑摩郡生坂村大字北陸郷 1 4 2 3 0 番地
工 事 期 間	令和 8 年 1 0 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日

月 工種	10月							11月							12月							1月							2月							3月								
【太陽光発電所】																																												
準備工																																												
土工																																												
基礎工・ トレンチ設置																																												
架台組立・ モジュール設置																																												
電気工																																												
フェンス工																																												
片付け																																												
検査・ 系統連携																																												
書類整理																																												
【蓄電池関係】																																												
準備工																																												
基礎設置工																																												
配管工																																												
据付工																																												
配線工																																												
試験・検査																																												
書類整理																																												

- 記載要領 1 工種は工事数量総括表の工種を記載する。（工種以外でも必要なものは、記載する。）
2 予定工程は黒実線をもって表示する。

草尾区 マイクログリッド事業及び上野地区への太陽光発電設備設置に関する説明会会議記録

日 時：令和8年7月28日（火）19：00～

場 所：草尾交流センター

*本説明会は生坂村と㈱いくさかてらすとの合同開催のため、本記録は㈱いくさかてらすが作成し、生坂村総務課村づくり推進室が確認したものである。

参加者：11名

説明者：生坂村…牛越副村長、村づくり推進室 同

㈱いくさかてらす…牛越代表取締役、 平林建設㈱ ㈱エコロミ

1. 開会

：定刻となりました。説明会を開催します。牛越副村長より挨拶申し上げます。

2. あいさつ

牛越：村は脱炭素先行地域に選定され、再生可能エネルギーを活用した地域づくりを進めています。予定している事業は、上野公園駐車場の一部に太陽光パネル164枚、蓄電池（400kWh）を設置し、ぶどう団地への電力供給拠点としての役割を担う計画です。

担当者より事業内容の説明をしますので、遠慮なくご質問、ご意見をいただくとともに、ご理解とご協力をお願いします。

3. 説明内容

：資料により説明いたします。

マイクログリッド事業とオフサイトPPAの事業概要を説明します。

：まず、マイクログリッド事業概要について説明します。

マイクログリッドとは自分たちのエリアで発電して自分たちで使う、電力の自給自足の仕組みです。

通常の電力の仕組みは、大きな発電所で作った電気を送電線とか配電線を通して、各家庭や建物に届けます。しかし、一旦停電が発生すると、広い地域で電気が止まってしまうというリスクがあります。

その点マイクログリッドは、外部の電力と繋がっていても、切り離してそのエリア内で自立運転ができるということで、自分たちのところで発電した電力で電気を使い続けられるというメリットがあります。

また、マイクログリッドのエリア内で自前の電線を引くものが資料左下書いてあります。これを自営線といいます。一方で電力会社が所有して、地域の家庭やお店など、そういう施設に電気を届けるための電線を、既存配電線といいます。

草尾はこの既存配電線を活用してマイクログリッドを整備します。

もう少し詳しく説明します。

上生坂のマイクログリッドとの比較を資料に提示していますが、令和7年度に上生坂でマイクログリッドの整備をしました。自営線を引くタイプです。草尾のマイクログリッドというのは、資料のとおり、中部電力パワーグリッドの既存配電線があるぶどう団地エリアで整備します。

上生坂から犀川の揚水ポンプ場までは自営線を引きますが、ぶどう団地内は既存配電線を

使用します。

草尾のマイクログリッドは、平常時にはいくさかてらすが発電した電気をぶどう団地内へ供給するとともに、非常時に備え蓄電池に充電し、非常時にはぶどう団地を他のエリアと分離独立させ、いくさかてらすの発電と蓄電池により電力供給します。言い換えると、他の地域で停電が発生しても、草尾のぶどう団地は停電の影響が出ない仕組みです。蓄電池容量は400kWhを予定しており、設置場所は後程説明します。

続いてオフサイト PPA の事業概要を説明します。

オフサイト PPA 事業の主体は、いくさかてらすですが、マイクログリッド事業との密接な関係があるため、私より概要を説明します。

設置場所は、資料 3P のとおり駐車場の一部を利用し、パネル枚数 164 枚、一番奥に蓄電池を設置します。パネルの出力は 76.26kW です。パネル設置場所はフェンスで囲み、容易に内部に立ち入れないようにします。資料右奥に、マイクログリッド事業での蓄電池等を設置する予定です。

いくさかてらすで設置する発電設備とマイクログリッド事業で設置する蓄電池とを繋ぐことにより、ぶどう団地への停電時電源供給を可能にするものです。

■：意見質問等をお願いします。

参加者：何のメリットがあるのですか。住宅地内への整備はしないのですか。

■：まずぶどう団地の関係ですけれども、通常時から揚水、電気柵、防霜ファン等で電力を使っています。特に加温ハウスでは、巻き上げ機などで電気を使っています。電気供給が止まると栽培しているぶどうが、最悪の場合半日で全滅してしまうリスクがありますので、そのリスク回避のため、マイクログリッドを整備します。

草尾住宅地にマイクログリッドが入ってないということですが、住宅関係は、マイクログリッドを整備するのではなくて、各家庭において、太陽光パネルと蓄電池等を設置することにより、停電時でも引き続き電気を使える仕組みを、整備しています。各家庭では、ぜひご活用ください。

参加者：上生坂は商店や学校、公共施設だけですか。

■：一般家庭には対応していません。公共施設関係です。

参加者：冬、ぶどう畑は関係ないのでは。電気は使うのですか。

■：電力使うのは季節限定ですが、村の主要作物の位置づけですので、主にハウスですとか、防霜ファンなど必要な設備が使用できなくなると困ってしまうという考えです。

参加者：シーズン中に使うのは理解できます。半日でダメになってしまうことも理解できます。でも、冬場は住宅サイドに回してくれてもいいのではないですか。

■：マイクログリッド自体は、電気使用の需要部分で時期による変動があるにしても、マイクログリッド事業は基盤整備であり、上野のぶどう農園は各家庭のように、それぞれ蓄電池を設置するわけにはいかないの、エリア全体として基盤整備をするものです。各家庭については PPA 太陽光と蓄電池を導入すれば、災害が起きても電力を使い続けられる仕組みです。

参加者：一般家庭と違うことはよくわかりました。

参加者：上野公園に上がり左側へ電源供給されるようだが、右側には電源供給されませんか。

■：草尾マイクログリッドの範囲は、既存配電線が整備されている左側のエリアになります。

す。

参加者：右側に防霜ファンがあります。供給されないのは不公平な感じがしますが。

■：今回の事業は、申し訳ありませんがこの図面の中で線を引かせていただきました。ご理解ください。

マイクログリッド事業では防霜ファンだけでなく揚水ポンプから先の範囲が受益範囲になります。揚水ポンプが災害時でも稼働が継続できますので、一番先に開拓していただいた庄の上、草尾エリアについても恩恵があります。

参加者：電気柵は全部繋がっています。草尾に上がってすぐ機械が3ヶ所あります、草尾の右側に。それと、全部上野の電気柵が繋がっています。こっちの電気がなくなると上野に電気がいかなくなります。だから、電気柵は止めて欲しくない。揚水ポンプは止まっても何とかありますが、台風来る収穫期9月10月で、電気柵が夜止まってその間に人や獣が入ることは、生産者としては困ります。

■：電気柵の電源が何ヶ所かに分かれていることは、今把握しました。早急に現地確認をし、電気柵の電気が途切れることのないように調整します。

参加者：電線から電気を取っているの、既存線自体はあるということですね。

牛越：既存線は中部電力の管理となります。中部電力との連携がありますので、調整を行います。

参加者：中部電力の方で電柵は毎月使用料が発生します。基本料金など。防霜ファンも全て中電のもの。防霜ファンのボックスが全部で50ヶ所ぐらいあります。配電盤に毎月1基につきいくらか中電から請求が来ます。そこは各組合で調べ、提出してもらえばそれは一目でわかります。下の方が該当しないというような考え方に行き着くのはちょっとおかしいのではないですか。

■：ご質問にあった庄の上について該当するかしないのにつきましては申し訳ないですが、しっかりと確認をさせていただきます。庄の上も貴重な農地ですので、しっかりと恩恵が受けられるよう、しっかりと中電との調整を進めていきます。この場で対象か否かをはっきりとしたことをお答えできなくて申し訳ありません。確認をいたします。

参加者：二つ質問があります。

一つ目は非常時のときにぶどう団地内に設置した太陽光なり蓄電池で施設の電力を賄うということになっていますが、内訳というか導入シミュレーションをされていますか。それは今日でなくてもいいです。

結局防霜ファンとかそういったところは、一応に使う形になると思いますが各農家の加温ハウスは、装備も使用状況もかなり異なります。どのようなシミュレーションをされたのかを知りたいのですが。

二つ目は、駐車場に太陽光パネルを設置される予定です。この図を見るとかなりぶどう畑に近いところまでパネルを設置されるイメージです。ぶどう畑に対する光や熱の影響がどうなのかというところを教えてください。

■：一つ目のシミュレーションをしているかですが、先ほどあったように今回の防霜ファンの電力使用量、揚水ポンプの電力量は計測しています。これにより蓄電池の容量を決めています。

牛越：二つ目の太陽光パネルは熱を発生しないかということですが、感じ取るような熱は発生

しません。

昭津に設置したもののでも、感じるようなことはありませんが、今は暑い時期ですのでその熱はありますが、私も日中に行って草刈りとかをやりますので、自分で身にしみてわかりますが、そのようなことはないです。また、傾斜角 20 度で、照り返し等がないように設計をしています。

参加者：一つ目のシミュレーションに対するご回答としては、具体的な数字を知りたいということです。何ワットをどれぐらいの使用量で、例えば 2 日間停電しても耐えうるような状態なのか、そういうところが知りたいです。もちろん何らかのシミュレーションに基づいているのは重々承知していますが、例えば、先ほどの電柵の話など、細かいところは、こういう基礎設計の段階では当然承知されていない部分はあってしかるべきだと思います。折角こういう説明をしていただく中で、本当に粗はないのかと。冒頭に説明あったように、例えば半日停電すると、本当にまずい状況になるっていう中でのご配慮だと思います。

そうしたときにどの程度電力が担保できているのかはやはり生産者の立場としてはチェックする責任があるのかなというふうに考えております。

二つ目は、熱も光の影響はないということでご回答いただきありがとうございます。

私のスタンスというか、私は全くこれ素人なのでそういう説明を受ければそうですかというふうに受け取るしかないのですが、以前大規模太陽光発電設備が広がっていった時に、メディアとかでよく説明会を開きました。影響ありませんという話でしたが、実際はなんかめっちゃ眩しいですとか、何かそういう報道とかもあったのもまた事実です。やはりそういう齟齬が起きていることを私は承知してないので、本当はないということであればそれを信用して、よろしくお願いしますと言うほかありませんが、そういう齟齬をきたしてきた原因とか、そういうのをもし承知しているようであれば、そのあたりについて、ここに関してはちゃんとシミュレーションしてあり大丈夫です。と。自分の説明を補足していただけると非常に安心できるかなと思います。

牛越：私の家のそばにもパネルを設置してあります。私の家の二階から見通せるところですが、照り返しがある印象はないです。

自分で感じたいということであれば、昭津に設置してありますので体感できると思います。マスコミではいろいろな報道がありますが、村としては影響についてそのようなことを考えていますので、それをご理解ください。

■が現在各電気施設の使用量については把握をしています。ハウスはしていませんので、その分の把握となるとハウスを使用している、ぶどう農家さん 4 ヶ所、その方から、その使用した電気量をいただきデータ化しないと示すことできません。こちらを提供していただきたいと思います。そういうところによってまた電気使用量が把握できます。あと揚水ポンプと電気柵、防霜ファンについては把握していません。正確にするということであればそのデータを提出いただきたいと思います。よろしくお願いします。

参加者：蓄電池 400 キロになっていますが 1 日 400 回ですか。データでは。

■：一般家庭で 1 日に使う量は約 10kWh です。

参加者：一般家庭ではなく、ぶどう団地内での消費量はわかりますか。

■：少々お待ちください。データ開きます。

■：先ほどのパネル反射についてですが、今回設置する太陽光パネルは AR コートという幕

が付いた太陽光パネルになります。これは携帯のフィルムに使われているような横方向から見えない反射になるコートが付いているので以前のパネルより反射率は減っています
参加者：草尾揚水ポンプの一番下の部分へは、上生坂から線を引っ張っている感じですが、線は引いてあるのですか。上を通っているのですか。

■：村道1級1号高鼻から上野揚水ポンプまで上げるこの下の揚水ポンプの関係については上生坂のマイクログリッド事業の中に入れております。上生坂全域が停電したとしても、このマイクログリッド事業でこの1級1号沿いの揚水ポンプから水が上がるという仕組みとなっています。水道水源の揚水も同様です。

やまなみ荘のテニスコート付近から、河川を横断し、草尾側に電柱を設置し、架空線で繋がります。

参加者：完全に自営線を引くのですか。

■：下のポンプ場は自営線の範囲です。

参加者：ソーラーパネルを設置いただきありがとうございます。何度かあった停電も瞬間的に切り替わり非常に快適です。太陽光パネルが結構汚れています。砂が溜まったようで、ほうきで履けるかと思い試みたのですがうまくいなくて、どのように掃除をすればいいのでしょうか。

■：太陽光パネルは傾斜角がついて上にいっても角度が違いますが、周りは膜の段差があるのでそこがどうしても汚れが溜まってしまいます。

1番の推奨は軽く水拭きしてください。強く押し付けると中がシリコンなので破損しますのでなかなか落ちはしませんが、水がついた雑巾とかで表面を優しく拭くことがメーカーから推奨されています。

他の発電所で汚れたパネルと掃除したパネルでどのぐらい発電量が違うのかという検証したところ、2%というデータが出たそうです。

1年間掃除してないパネルと綺麗に掃除したパネルで比較したところ、大体1%、2%とされています。そこまで変わらないところです。

参加者：農村公園の駐車場に設置っていう形ですね。電柵があるので、毎日夕方には閉めて帰ります。ごく稀に開けて入る人もいたり、夜な夜な人が来たりして、防犯とか、銅線の盗難、今金属系、かなり良い値で売れる例もあるようです。そのようなことに対しての注意喚起や防犯対策はどのように考えていますか。

牛越：昭津と同様に防犯カメラの設置を考えています。ぶどうもありますし、パネルはフェンスで囲みますので、防犯上や危険防止の観点から取り付ける予定です。

参加者：草尾の村政懇談会でもありましたが、ここに防犯カメラをつけて欲しいです。農作物の被害等もあり、それらを一緒に全部カバーできないのですか。

牛越：行政で対応しなければいけないと思います。住宅街の防犯カメラ等については、検討していますが、オフサイトの管理は株式会社いくさかてらすが行うことになります。行政とは線を引き対応します。お願いします。

参加者：別の場所で防犯対策をしていることを、村としてマスコミとかにPRしたらいいなと思いますよ。防犯カメラを設置してから。

牛越：防犯カメラは結構大事だと思います。今まで農作物が盗まれたとか、ここはないですが、これからあるかもしれません。南平では防犯カメラを設置しています。元気づくり支援

金の活用など、今後考えなければいけないと村長も私も認識しています。どのように進めるべきか調整していきます。

■：先ほどの区長さんからの質問のお答えをします。

■：提供いただいた防霜ファンすべてと、ポンプも含めた電力量。うち防霜ファンが5月に特に使用されていると思いますが、5月分のデータは1時間ごとのデータではなく1ヶ月分ですので、割り返し数字では1日当たり約560kWh使用されていると考えます。今回、蓄電池は400kWhですので、丸1日はもたないことになります。時間帯的にはそうなりますが、太陽光発電もありますので、発電する時間帯はその後充電されるような形になります。

参加者：1日ぐらいですね。

■：そうですね。提出データからの割り返しですので、若干のズレは生じます。

参加者：1ヶ月分の使用量を30日で割って、1日分ですか。

■：その通りです。

参加者：それはアウトです。逆に使用状況をこちらもいつも電力量を確認はしていませんので、何とも言えないですけども、今年は割と温かかったので防霜ファンの稼働率がかなり低かったです。その代わり去年はかなり防霜ファンの稼働日数が多かったです。そちらのデータが去年なのか、今年なのかもありますが、その稼働日の中ではおそらく500以上使っていると思います。稼働する時間帯は夜10時から朝の6時7時まで回っています。100では一番本来気温が低いときに、あの防霜ファンが全て止まるっていうパターンになりかねないです。だからちょっとデータの算出の仕方は、我々からすると、信用ができません。

牛越：質問がありましたのでそのような算出をしました。草尾上野で、いつ、どのぐらいの時間帯に防霜ファンが回り、どのぐらいの時間にポンプが稼働しているかを掴むことは大変なことです。そのシミュレーション難しいと思います。ご理解ください。

参加者：質問の補足をさせてください。そのデータは稼働した日が3日から4日ぐらいです。しかも稼働した時間帯はおそらく明け方の数時間だから、総稼働時間は、我々の肌感覚で言うところ、5月中に、24時間は回ってないっていうところです。それを30日で割り戻しても、ちょっと実態にそぐわないよっていうところです。そこは、加味してください。

牛越：先ほどもお答えしましたのでご理解ください。

参加者：使用電力の話で、教えてほしいが、400kWhは消費電力が1kWhだったら400時間もつという理解でいいですか。

■：そのとおりです。

参加者：560kWhだったら、1時間もたないのでは。

■：500は一日あたりです。

参加者：一番防霜ファンが回る時間と、揚水ポンプが動く時間は全く同じ時間ですので、加味してもらってその正確なデータ把握ができます。

参加者：欲を言えばっていう。大変なのは重々わかります。その日その日のデータはなかなか出ない、中電に問い合わせてもどこまでそれが出てくるのか。1ヶ月の総使用量っていうのは自分たちの家だってそうですから重々わかります。ただそれだけで、間に合うじゃないかという、安易とは言いにくいのですが、もう少しその点も加味した形で検討をして、計画している蓄電池が400kWhで足りますか。蓄電池容量を増やすことができますか。検討する余地はありますか。

牛越：容量を増やすこととなれば、太陽光パネルを増やさなければなりません。村政懇談会を実施する中で、メガソーラー的なものはやめて欲しいという意見が多く、ここと同規模のものを増やしていく計画です。災害面を考慮して蓄電池の計画もしています。太陽光パネルと同時に検討しなければ物理的に無理だと思います。ご理解ください。何十億もかけて開発すれば大きなものの設置が可能かも知れませんが、それは無理なので、ご理解いただきたいと思います。

参加者：運用面ですが、ぶどう生産者からすると、やっていただく事業ですので不平不満を言っているわけじゃないことはご理解ください。その上で恐らくその防霜ファンに耐えられる蓄電池ではなさそうだなっていうのは私個人としては持っています。運用として、こうした課題があり、防霜ファンはケアできないから、その腹積もりでいようというのを、生産者組合の中で、やっぱり持つべきではないのかという意味で正しく理解したいという趣旨だったということです。

牛越：わかりました。あくまでもぶどう農家さんの意見を聞きながらその運用については考えたいと思います。ですので、何かあった場合については何を優先してやるかっていうルール付けが必要だと思います。損害を無いようにするにはどのように運用するかを相談させてください。よろしくお願いいたします。

■：事業概要について、ご説明しました。皆さんからご質問ご意見等頂戴いたしましたが、引き続き、工事工程について説明をします。株式会社いくさかてらすより説明します。

■：工事工程表について説明します。

工程表、太陽光発電所ですが、10月初旬から準備工に入り、検査・系統連系を終了させ、書類整理も含めて太陽光発電設備の完成は2月中旬を予定します。

蓄電池関係は、11月から準備工に入り、書類整備を含め完成が3月末でと考えています。以上になります。

■：工程説明をしました。補足しますが、10月はブドウ農家が繁忙期ですので、実際に現地で工事を始めるのは11月、10月中は準備をさせていただく工程となっています。

また、今後も皆さんからご了解いただき、現地作業の際は、具体的にいつぐらいから入る、いつからいつまで何をするかを周知しながら進めていきます。

ただいまの工程について、ご質問等ございましたらお願いいたします。

参加者：業者は■とか■とかですか。

■：村内業者を予定します。

参加者：10月中に不穏なトラックとかが入ると嫌です。例えば■のあの人がと判れば安心なので、それが知りたいのですが。

■：平林建設を予定しています。

参加者：農村公園の駐車場を、立ち入り禁止というか、閉め切る期間はありますか。

■：工程ですが、10月のブドウ農家の収穫時期を考慮し、その期間は先ほど■説明したとおり、準備段階でパネル等の手配、調達等の関係もあり、現場着手はできないということになります。完成イメージを見ていただくと、駐車場の奥に、蓄電池を設置します。その基礎工事を先行して施工し、蓄電池はその後に設置することになります。その間にパネルの設置等を行います。

実際には使用できない期間は設けません。駐車場もこんな状態で半分ですけども、使える

状態になります。必要最小限の部分で作業いたします。

■：完全に締め切る期間はないということです。お願いいたします。

参加者：伐採はしませんか。

■：木の影響を受けない位置にパネルを配置する計画です。パネルの向きは真南。一番日照を受けやすい面に設置します。木は日照状態への影響はそんなにはないと考えます。

参加者：伐採することで西日があたるのではないですか。

■：伐採ということまでは考えていません。予定する設置枚数で発電量を確保します。東からの日照で、西日が若干早く落ちても発電量は落ちないと考えています。

参加者：伐採した方が効率もいいのでは。

■：冬場は太陽の角度が下がりますが、多分落葉樹と思われますので、葉が落ちます。逆に風通しと、日照が良くなると思います。

参加者：パネルの上に葉が落ちます。設置するのだから効率よくするため、伐採すればいいのではないのでしょうか。

■：ご意見ありがとうございます。

■：今、皆さんから様々ご意見、ご要望等をいただいたところですが、これまで草尾ブドウ園の中については停電時の対策っていうものがなかった中で、マイクログリッドを構築することによって、停電時にも電気が供給できる基盤作りということで大きな一歩を踏み出すわけです。

こちらの事業について、よろしければ、今後、村といくさかてらすが進めていくことを考えています。そこも含めて、ご意見ございましたらお願いしたいと思います。

(参加者より なしの旨 声あり)

それではご説明した、マイクログリッドとオフサイト PPA について今後進めていきますので、皆さま方には引き続きご理解ご協力をどうぞよろしくお願いします。

(2) その他

■：その他、何かありますか。

説明者側：(特になし)

参加者側：(特になし)

5. 閉会

■：それでは長時間にわたりまして、皆さんから貴重なご意見を頂戴いたしました。

これをもちまして説明会を閉会といたします。本日は大変ありがとうございました。

(19 : 55)